

# 宮本 益光

## カラオケ音楽の

# ススメ

## 詩(うた)の絵手紙

“不思議なお料理の歌”や“あわてんぼうの床屋さんの歌”  
 などおなかを抱えて笑っちゃう。バリトンの宮本益光が贈る  
 ユーモアあふれる歌のコンサート。  
 家族みんなでボクと一緒に素敵な思い出をつくろうよ！



バリトン/宮本 益光



ピアノ/加藤 昌則

### 曲目 (予定)

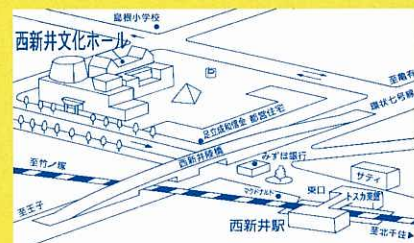
- 日本の歌：あわて床屋  
あんこまパン
- 歌曲：シューベルト『魔王』  
モーツァルト『フィガロの結婚』より  
“もう飛ぶまいぞこの蝶々”他

平成20年 2月24日 日 14:00 開演 [13:30 開場]

ギャラクシティ 西新井文化ホール | 東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通  
東武伊勢崎線西新井駅東口徒歩3分

料金 一般 2,500円 • 4歳以上・高校生以下 1,000円 [全席指定] 4歳未満の入場は  
ご遠慮ください

主催 ● (財) 足立区生涯学習振興公社 お問合せ ● 文化事業課 ☎ 03-3850-7931



※インターネットで西新井文化ホールの公演情報がご覧いただけます。  
<http://www.kousya.jp/bunka/nishiarai/>

12月3日 日 より区内販売窓口およびチケットぴあにて発売開始

【区内販売窓口】9時～20時 ※庁舎ホール平日のみ9時～17時まで 平野運動場9時～17時まで

ギャラクシティ、生涯学習センター（学びピア21内）、千住温水プール、千住スポーツ公園、  
 庁舎ホール（足立区役所内）、総合スポーツセンター、東綾瀬公園温水プール、  
 スイムスポーツセンター、平野運動場  
 各地域学習センター（竹の塚、中央本町、東和、佐野、舎人、保塚、江北、興本、伊興、鹿浜、梅田、花畑、新田）

【チケットぴあ】0570-02-9999 [Pコード: 276-112 (音楽)]  
<http://pia.jp/t> インターネットでもお求めいただけます。

ファミリーマート、サークルK、サンクスでもチケットをお求めいただけます。  
 (Pコードが必要です)

※お求めいただいたチケットの払戻し、変更等はできません。  
 ※場内での写真撮影・録音・録音、携帯電話の使用は固くお断りします。



## 演奏、作詞、作曲、執筆と多彩な活動で クラシックのファンを急増させる 21 世紀のホープ

### 宮本 益光

#### PROFILE

みやもとますみつ ●バリトン

- 愛媛県出身。東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。
- 論文「オペラの日本語訳詞、その方法論」にて学術（音楽）博士号を取得。
- 奏楽堂日本歌曲コンクール奨励賞受賞。
- 第 69 回日本音楽コンクール入選。
- 国際モーツァルトコンクール派遣者選考会にて優秀賞受賞。
- 1996 年に広島オペラルネッサンス『ドン・ジョヴァンニ』（マゼット役）でオペラデビュー。その後も『ラ・ボエーム』のショナール、ブリテン『ヴェニスに死す』、新国立劇場小劇場シリーズ 原嘉壽子『シャーロック・ホームズの事件簿』、三善晃『遠い帆』徳川家康、などを演じ、古典作品から現代作品、邦人作品までそのレパートリーは幅広い。
- 2003 年 A. プレヴィン『欲望という名の電車』スタンリー役の好演で一躍脚光を浴び、翌 2004 年二期会オペラデビューとなった宮本亜門演出『ドン・ジョヴァンニ』タイトル・ロールで新時代のドン・ジョヴァンニを演じ、各方面より絶賛をされた。
- 2006 年 2 月二期会『ラ・ボエーム』ショナール役に続き、11 月宮本亜門演出による東京二期会『コジ・ファン・トゥッテ』のグリエルモ役で、聴衆を魅了、その公演は芸術祭大賞を受賞した。最近では 2007 年 8 月日生劇場音楽ドラマ『チャイコフスキー』にタイトルロールとして出演して舞台をリード、歌唱だけでなくとどまらず、淡路恵子や長谷川初範といったベテラン俳優と互角に肩をならべる中で、極めて完成度の高い演技を披露し、表現者としてのいっそうの幅と深みを加えた。

- コンサートでも「第九」をはじめソリストとして活躍。2004 年読売日響「カルミナ・ブラーナ」での躍動感溢れる演奏が好評を博し、その模様は日本テレビ等でも放映された他、東京オペラシティでのリサイタル「B→C（パッハからコンテンポラリーへ）」でも成功を収めた。また、テレビ朝日「題名のない音楽会 21」や日本テレビ「深夜の音楽会」、NHK-FM「名曲リサイタル」などテレビ、ラジオにも出演。その他オペラの日本語訳詞上演について研究しており、『カルメン』等で新日本語訳詞を、また『ドン・ジョヴァンニ』等では字幕を発表。対訳なども手掛けており、2005 年 5 月、字幕を手がけたブランク「カルメル派修道女の対話」（いずみホール）は、完成度の高い好演として各紙上で絶賛された。単に演奏だけに留まらぬ多彩な才能を発揮している。
- 2005 年 10 月ユニバーサルミュージックよりデビュー CD「おやすみ」UCCS-1079 をリリース。12 月には HAKUJU HALL での CD リリース記念リサイタルを開き、満場の客席から喝采を浴びた。2007 年 4 月 1 日に 津田ホールで「21 世紀（ぼくら）の歌」バリトン・リサイタルが絶賛された宮本益光。2007 年 3 月にはナミレコードより、自らが作詞した「あしたのうた」を含む新たな CD（加藤昌則作曲）をリリース。さらにユニヴァーサル・ミュージックより配信限定でリリースされていた「千の風になって」「小さな空」が好評につき 2007 年 8 月にはシングル CD としてリリースされ、話題となっている。
- 著書に「宮本益光とオペラに行こう」（旬報社）がある。

宮本益光 HP = <http://www5a.biglobe.ne.jp/~son-net/>  
二期会会員。



#### PROFILE

### 加藤 昌則

かとうまさのり ●作曲家・ピアニスト

- 1972 生まれ。東京藝術大学音楽学部作曲科を首席で卒業。同大学大学院修了。在学中より自作自演による活動を始め、イギリス、イタリアなどでも自作品によるコンサートを開く。NHK-FM「FM リサイタル」、「名曲リサイタル」などに出演した折も自作品を演奏し、放送終了後、リスナーからの問い合わせが多数寄せられるなど、反響を呼んだ。
- 1996 年に初の自作自演による個展を開いて以来、毎年個展を持続して行っているが、1998 年の東京オペラシティ、2001 年の浜離宮朝日ホールなどの演奏会においては誌上にも取りあげられ、作品・演奏共に高く評価され、2003 年 3 月にはウィーンの楽友協会ホールにて全自作自演による鮮烈なデビューを果たした。

- 一方作曲家としても幅広い分野に曲を提供しており、1999 年の合唱音楽作品のみによる初の個展以後、合唱作曲家としてもデビュー、以来合唱の委嘱も多く手がけている。
- 2002 年、初の舞台作品である「ME」を初演。2004 年 3 月にはスイス、トーンハレ管弦楽団メンバーによる委嘱初演や、2005 年 6 月のスロヴァキアフィルハーモニーの来日公演での新作初演（サクソソロ＝須川展也）など海外の演奏家や著名演奏家による作品の演奏も目立ってきている。2006 年には初のオペラを初演、誌上等でも高く評価され、同年 12 月、神奈川フィル定期での委嘱作品初演も満員の盛況と成功を収めた。
- 2001 年にデビュー CD「SOLO」(ART-3067) を発売。CD 全曲所収の楽譜集も出版。女声合唱組曲「5 つのソネット」の楽譜も出版している。2007 年 3 月に 2 枚目の CD「あしたのうた」(ナミレコード) を発売（バリトン宮本益光）、誌上にも多く取り上げられている。
- いわゆる「現代音楽」とは全く異なる視点で書かれた、美しく斬新な抒情性に満ちた作品は、多くの愛好者を持っている。

加藤 昌則 HP = <http://www.masanori-music.com>

